

きせぐり

議会だより
No. 180

乳幼児教室「にこにこクラブ」



議会中継ネット配信 2

ここをどうする!?(6人が一般質問) 5

平成26年6月議会号

6月定例会

本定例会は6月5日から13日まで、9日間の会期で開催しました。

総務建設・文教厚生の両常任委員会および予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算、専決処分など計13議案を審査しました。また最終日の本会議にて、すべての議案が原案のとおり可決されました。各議案に対する賛否一覧を4ページに掲載しています。

議会中継について

篠栗町議会は、平成26年6月定例会から、議会中継を始めました。

ご自宅等にあるパソコンから、篠栗町ホームページの専用コーナーを開くことで、閲覧することができます。

動画は、ライブ（生中継）と過去の定例会を閲覧できる録画中継があります。

動画閲覧の流れは、以下の通りです。

配信 始まる!

動画再生の流れ



① 篠栗町役場 検索



② 左下の【議会中継・録画配信】をクリック

国民健康保険税限度額の改正

平成26年度分から賦課限度額を後期高齢者支援金分が14万円から16万円に、介護分が12万円から14万円へそれぞれ引き上げられる。

なお、年間の所得が特に低い方には、国保税を軽減する制度がある。

町税条例の一部改正

①平成27年4月1日以降に新車登録した軽自動車の税率が引き上げられる。

自家用乗用車：現行7200円が1万8000円に、現行の1.5倍に引き上げ。

その他の車両：1.25倍から1.5倍の引き上げ。

さらに環境性能に優れた自動車を普及していく観点から、初めて登録した月から起算して14年間経過した軽自動車に対しては、1万8000円の約1.2倍にあたる1万2900円が課せられる。

②その他、法人住民税法人税割の税率の引き下げ、固定資産税等の課税標準の特例措置など多岐に渡る改正が行われた。

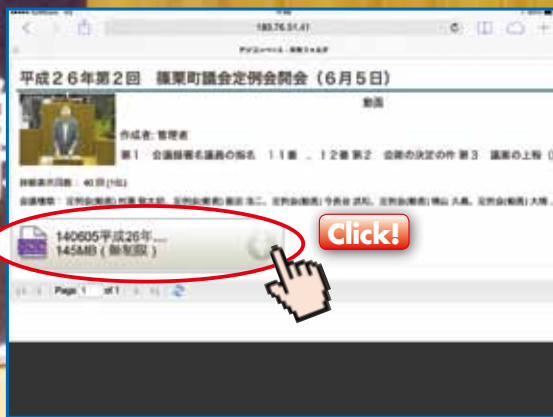
損害賠償額の確定

本議案は、町公用車が、業務のため訪問した際に発生した物損事故により、相手方に支払う損害賠償額の確定である。

50万円以上の額の確定は議決事項であり、損害賠償金として、51万8400円を支払うもの。（全額保険適用）

【議会】最近、事故が多いので、さらなる危機管理意識

本会議中継 インターネット動画



④ こちらのボタンをクリックすると動画の再生が始まります。



③ 【「篠栗町議会録画配信」はこちら】をクリック

識を持つよう」。

行政 今後、このようなことがないよう、全職員に再度指導する。

委員会研修

萩尾分校学校給食視察
5月14日 文教厚生常任委員会

視察の目的は給食の配送時間、衛生管理、配膳状況などの確認。給食は本校（篠栗小学校）で梱包され、タクシーで栄養士が搬送し、15分で到着する。直ちに検温し、教頭先生が検食した後、児童がつき分け、配膳する。児童自身で量を決めるので食べ残しはなく、給食はおいしいと笑顔で答えていた。私たちも一緒に頂いた。

萩尾分校は豊かな自然に恵まれ、地域の方々との絆が深い学校で、9名の異学年児は仲の良い兄弟（姉妹）のようだった。

人事

人権擁護委員を推薦

○郡嶋 正弘氏

任期は法務大臣が委嘱した日から3年間。

農業委員会選任委員を推薦

○鷹巢 礼子氏

○萩尾 由紀子氏

○大楠 英志氏

任期は平成26年7月20日～平成29年7月19日。

一般会計補正予算の主な歳入・歳出は表1および表2のとおり。
特別会計は、すべて人事異動等による人件費および公債費の減額補正である。

(表1) 歳入の主なもの

(万円未満 四捨五入)

地方交付税（普通交付税）	6847万円
国庫支出金（社会保障・税番号制度システム整備費補助金）	1300万円
諸収入（県への派遣職員人件費交付金）	1440万円

(表2) 歳出の主なもの

社会保障・税番号制度事業費（システム整備）	3508万円
人事異動等による人件費	1609万円
桐の木谷公衆トイレ建築	3218万円
徴税過誤納金還付金	2015万円
国民健康保険特別会計への繰出金	△ 404万円
後期高齢者医療特別会計への繰出金	881万円
公共下水道事業会計への繰出金	△1004万円

(表3) 各会計補正予算額

会計		補正額	補正後予算額	
一般会計		1億 80万円	93億 30万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	△ 404万円	33億 7756万円	
	後期高齢者医療特別会計	881万円	3億 7116万円	
	下水道事業会計	収益的支出	△ 1091万円	7億 9479万円
		資本的支出	87万円	4億 170万円
	水道事業会計	収益的支出	32万円	5億 2175万円

26年度国保特別会計補正予算 専決処分

25年度国保特別会計に赤字が生じたため、26年度同会計から1億6000万円を繰上充用。

※専決処分とは

緊急で、議会を招集する時間がない場合などに限り、議決をせずに町長自らが決めること。
専決処分した場合は次の議会で報告し、承認を求めなければならない。

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
6 月 定 例 会	30 専決処分の承認を求めること(専決第7号) 〔篠栗町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定〕	出席者全員賛成
	31 専決処分の承認を求めること(専決第8号) 〔篠栗町税条例等の一部を改正する条例の制定〕	出席者全員賛成
	32 専決処分の承認を求めること(専決第9号) 〔平成26年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)〕	出席者全員賛成
	33 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	出席者全員賛成
	34 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	出席者全員賛成
	35 損害賠償額の確定	出席者全員賛成
	36 平成26年度篠栗町一般会計補正予算(第1号)	出席者全員賛成
	37 平成26年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	出席者全員賛成
	38 平成26年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	出席者全員賛成
	39 平成26年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)	出席者全員賛成
	40 平成26年度篠栗町水道事業会計補正予算(第1号)	出席者全員賛成
	41 平成26年度篠栗町一般会計補正予算(第2号)	出席者全員賛成
推薦案 第1号	篠栗町農業委員会選任委員の推薦	出席者全員賛成

※大楠議員は、入院のため欠席。

6人が一般質問

6人が一般質問

1. 松田 國守 議員	6
・側溝整備予算の抜本的な見直しを	
・利便性の高い交通体系で、均衡ある生活環境を	
2. 荒牧 泰範 議員	7
・長期水害対策を望む	
・保険料抛出の抑制を	
3. 後藤 百合子 議員	8
・読書意欲を高め、図書館利用の活性化を図る取り組みは	
・青少年のインターネット依存対策は	
4. 横山 久義 議員	9
・クリーンパーク方面からの強い悪臭の特定と対策は	
5. 村瀬 敬太郎 議員	10
・住民目線のサービス提供を	
6. 飯田 浩二 議員	11
・住居表示を早急に着手すべきでは	

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

側溝整備予算の抜本的な見直しを

町長「整備事業の予算確保と促進を図る」



松田 國守

だが、予算を見直してはどうか。

答【町長】

予算額の範囲内で順次進めているが、未整備箇所の解消には相当年を要する。

問
側溝整備は、各団地を中心に毎年の予算で進められている。

団地のメインはほぼ整備を終えているが、奥に入ると未整備の箇所が多々あり要望してから既に10数年経つ所もある。ある団地では5カ年計画を作成し、その推進を図っており、その一期目が終わるが、整備率は計画の約50%で、これまでの予算額では整備が進まない状況である。

平成21年の豪雨災害復旧工事もほぼ終わっ

生活環境、交通安全の観点からも議会とさらに協議を重ねながら、整備事業予算の確保並びに整備促進を図りたい。

また今年度の土木費は当初予算において確定した計画が少ない状況であり、町内土木事業の振興のためにも予定している町内維持管理費の施行に上乘せする形で、追加事業の策定を急いでいる。

利便性の高い交通体系で、 均衡ある生活環境を

町長「現状に応じた対策を検討して行きたい」

問

粕屋町の人口が4万5000人に達したとの報道があった。2030年には5万1千人を突破すると予測されている。

福岡市に隣接し、子育て世代の流入で出生率の高いことが大きな要因であり、JR長者原駅を基点に6駅が存在する交通利便性の高い事が背景にあると考えられる。

わが町では、JR篠栗線を利用するにはきわめて不便な地域がある。

例えば和田地区で門松駅にアクセスする交通手段があれば、その地域の生活環境は大幅

に改善される。

交通の利便性は町が進める子育て環境の充実とともに、まちづくりの中心的テーマである。均衡ある利便性の高い交通体系は考えられないか。

答【町長】

本町独自の公共交通サービスを導入するには法令も含め、様々な問題をクリアしなければならぬ。

今後、地域の自立や活性化を考える上で、公共交通が果たす役割は益々大きくなる。交通弱者支援のため、現状に応じた対策を講じなければならぬ。

既存の公共交通機関との共存を図りながら、一体となって地域の交通網を検討して行く。



長期水害対策を望む

町長「これまでの事業を継続して県へ要望していく」



荒牧 泰範

近年、集中豪雨による水害は尊い命を失うなど甚大な被害を受けている。

町はもとより国・県の努力により山間部の災害復旧や予防策は進んでいるが、人口密集地への予防策が十分でない。特に懸念するのは、堤防が決壊したときの明治区をはじめ、水路や川が氾濫した場合の尾仲・乙犬地区の家屋への浸水である。

これらを防ぐためには多々良川の水を速やかに下流域へ流すしか

方法は無いと思う。そこで、クリエイト篠栗付近から和田地区まで川底を走るオーバーフロー型の暗渠を敷設して水害を防ぐという手もある。莫大な費用を要するため、長期計画で国の災害対策モデルケースとして補助金を頂く等の交渉を始めるべきと思うがいかがか。

議員の話にある膨大な計画だがその辺りも含めて、とにかく、浸水の可能性がある地域にどう対応するかを積極的に要望していく。

河川整備は下流からこの県の見解があるが多々良川が水源までしっかりと流量調整できる河川となるよう継続して県に要望する。



保険料抛出の抑制を

町長「努力している」

福岡県広域連合介護

保険料及び後期高齢者医療保険料における抛

県内での取り組み状

況、町の実績を見ながら、保険料抑制につながるための努力をして

読書意欲を高め、図書館利用の活性化を図る取り組みは

教育長「実現に向け検討」



後藤 百合子

問 近年、スマートフォンでゲームやメールに明け暮れ、読書に親しむ子どもたちは減少傾向にある。我々が子どもの頃は家の手伝い、外で跳ね回るか読書で過ごすかだった。本からはいろんな世界に連れていってほしい、本の中で仮想体験もさせてもらいた。

答【教育長】 篠栗町図書館の状況では利用カード登録者数は増加しているが、年間利用者数は減少、貸出冊数は、平成22年度の25万5748冊に比べ平成24年度は9532冊の減となっている。利用者数と貸し出し冊数減少の要因は、最新の情報が簡単に調べられるインターネットの普及や少子化が考えられる。早速導入済みの自治体から情報を集めて、実現に向け検討に入る。

いっている。図書の出借件数の減少に歯止めをかけ、利用者の読書意欲を促進し、図書館利用を活性化する「読書通帳」の導入を考えては。

青少年のインターネット依存対策は

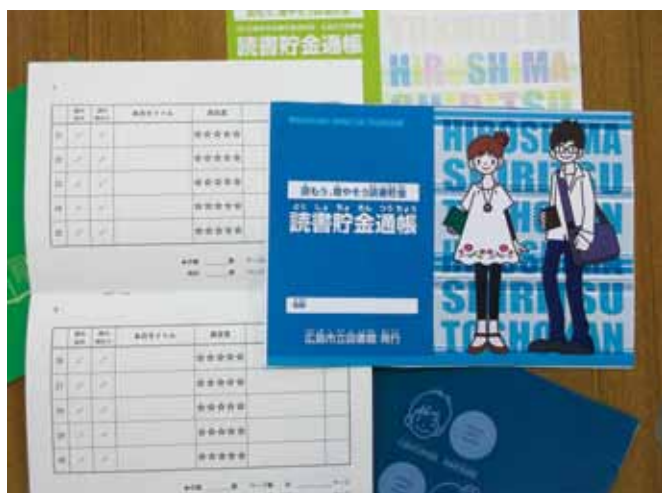
教育長「啓発・指導が重要」

問 精神的・身体的トラブルを引き起こす青少年のインターネット依存について、本町の取り組みを尋ねる。

一方では、小中学生にスマートフォンや携帯電話を使用させる場合に、保護者の責任でフィルターや使用時間制限を設けるなど、ルールづくりを呼びかけて

いる。中学校の新入生説明会でも、保護者に購入の必要性を検討し、家庭での使用上のルールを決めるなど、啓発を行っている。今後子どもたちが安全で健康的な使い方ができるよう、町PTA連合会と連携し、指導を行っていくことが重要と考える。

答【教育長】 全国的な状況に、本町では、県の指導をもとに、町内の小中学校に専門家を講師として招へいしている。情報モラル教育や、ネット依存による健康被害等について、保護者も交えた講演会を開催し啓発を行っている。また、福岡県が作成した、考えて使う携帯ハンドブックを活用し、小中学校の担任が解説し、注意を促している。



「広島市立図書館ホームページより」

クリーンパーク方面からの強い悪臭の特定と対策は

町長「現在改良工事を行っている」



横山 久義

問……………

クリーンパークの足元を走る町道沿いの複数の住民から昨年11月耐え難い悪臭について相談を受けた。

悪臭は3年前からあったが、だんだんひどくなり、洗濯物を屋外に干すこともできず窓を閉め切っていないければならない程だそうだ。

悪臭の発生源がクリーンパークだと決め付けるつもりはないが、全く無関係だとも言えないと思ひ、地元選出の監視員を通し施設に

報告してもらい、同時に町にもこのことは伝えていますが、半年以上経過しているにもかかわらず聞き取り調査すら行われていない。

現在プラントの稼働延長に向けての取り組みがされているようだが、もしこの悪臭の発生源がプラントだった場合、稼働延長に大きな障害となることは明らかである。

この臭いの発生源特定と対策について、どのように取り組まれているのか具体的に示されたい。

クリーンパークの施設敷地内において、時折ごみの臭いがするところは施設職員が体感している。天候や風向きにより付近の住宅地やカプトの森公園等においてもその臭いが強く

答【町長】

感じることもあると聞いている。施設周辺で臭気測定を行い臭気指数は基準内だが、臭いがする日があることは事実であり、その対策は重要であると認識している。平成21年度に集じん脱臭機をオゾンスクラバーに変更し、機能強化を図り、本年度は乾燥機の効率を上げ、脱臭前の臭気拡散を防止する対策工事を行い、7月に完成予定である。また、現在もプラントメーカーや脱臭装置メーカーと協議を行い、臭気対策の研究を重ねている。

問……………

どのような臭いなのかを聞き取りするのが先決ではないか。

答【町長】7月のこの改良が終

わった段階で、周辺地域の臭気の状態を確認したい。その後臭気が継続しているようであれば、他に原因があるのか、あるいはもっと改良する余地があるのか調査していくことになろうかと思う。

問……………

7月に改良することを初めて聞く。関係する住民も知らされていないと思ふ。周知徹底を図るべきでは。

答【町長】そのようにする。

(※) オゾンスクラバーとはオゾンを活用して脱臭する装置。



クリーンパークわかすぎ

住民目線のサービス提供を

町長「親切丁寧、迅速な対応に努める」



村瀬 敬太郎

進的取り組みとして注目されている。

住民はほとんどの手続きを一つの窓口で完結でき、職員は事務作業と窓口対応を並行する煩雑さから解放され、事務効率も上がり、住民にも職員にもメリットが期待できる。

内閣官房は、平成28年1月のマイナンバー制度導入により、容易にこの取組みが可能になるとしているが、夜間窓口や総合窓口サービスなど、住民目線に立った窓口運営の可能性をどのように考えるか尋ねる。

【答】町長

窓口業務は多くの住民に接する重要なサービスであり、できる限り住民の立場に立ち改善しなければならぬ。これまでにもローカウンスターの設置やレイア

ウトの変更、番号札の発行、総合案内を設けるなど、窓口サービスの充実にも努めてきた。住民票の時間外受け取りサービスも平成23年3月から行っており、利用者数も増加傾向にある。

総合窓口の住民ニーズの高さは認識しているが、導入には業務システムの構築、庁舎フロアの改修、事務フロアの見直し、個人情報保護の上でハードルが高い。

また、総合窓口だけで完結しない手続きもあること、ひとりの職員で複数の業務を行うには限界があり職員の増員が必要になること、庁舎のスペースが狭く様々な機能強化に限界がある等の問題もある。以上のことから、効率的に時期を見ながら、夜間窓口など時間延長の件も含め、マイナン

バー制度導入に合わせ総合窓口導入など、住民サービスの一層の向上を検討する。

当面は包括委託による民間業者のノウハウを反映しながら、親切丁寧、迅速な対応に努める。



粕屋町役場 総合窓口

住居表示を早急に着手すべきでは

町長「記念事業の一環として、協議を進める」



飯田 浩二

【町長】 古賀市、宇美町、志免町、新宮町では、整備計画の80%以上が完了しており、粕屋町は約50%弱が完了している。須恵町、久山町は未実施である。

【町長】 これまでの厳しい財政状況の中で、本事業の実施に要する費用、他の事業を含めたところで勘案していくと、どうしても慎重な協議となっており、その先に進

問 平成18年12月議会において、住居表示の実施について、町長は、早晩取り組んでいきたい一つの大きな案件と答弁してある。しかしながら、現在に至っても住居表示に関する取り組みが行われていない。当時の町長答弁をもとに質問を行う。

問 住居表示の必要性をどの程度認識しているか。

【町長】 街区内に整然と規則どおりに番号を付け、見やすい場所に表示板を設置し、住居表示を行うことで、郵便物や宅配業務がスムーズに行えることや、家や会社を容易に見つけられる。また、消防車や救急車・パトカーなど緊急車両が早く現場に急行することが可能になる。

問 近隣自治体の実施状況はどのようになっているか。

【町長】 平成19年度、実施に向けた長期計画が定められているが、どのようなになっているか。

【町長】 実施予定区域、長期年次計画、住民表示方式の選定、住民表示の表し方など、実施における事業の方向性について計画したが、実現まで至っていない。

問 要望書の提出より既に10年が経過しているが、なぜこれまで取りかかれなかったのか。

んでいかなかった。

問 町づくり住民説明会において、「平成28年問題が片づいた」「攻めの予算組みが可能になった」ということだった。町部での水路整備などハードの整備とあわせ、住居表示のソフトの整備を進めると、安心安全のまちづくりがさらに前進するのではないか。

【町長】 平成27年、我が町は合併60周年となるが、それに向けての幾つかの記念事業を取り組む。やるべき事業を住民、関係機関、各種団体などの意見を参考にし、優先順位を決定して進めて行く。その中に、「篠栗町住居表示整備計画」も織り込みたい。



輝くまちの宝

表紙の写真は、6月20日にオアシス篠栗で行われた乳幼児教室「にこにこクラブ」での1コマです。

当日は、7か月から1歳2か月の赤ちゃんとお母さん、総勢22人が集まり、保健師・栄養士より熱中症予防や離乳食についての講話があり、その試食体験もありました。またお母さん同士が活発な情報交換をしていました。

町では、母子保健サービス事業として、就園前の子どもとその家族を対象に、乳幼児教室（年齢別に4教室、それぞれ月1回程度開催）、マタニティ教室、パパママ学級、その他育児相談、栄養相談等を行っています。

詳しくは、オアシス篠栗 健康課（092-947-8888）にお問い合わせください。



あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか？

応募要領

- テーマ 今年度もこども中心の写真です。
- 応募方法
 - ① 作品はすべてプリントしたもの。（カラーのみ）
 - ② サイズ/L判～A4程度
 - ③ 撮影場所、日付、写真説明（タイトル含む）、住所、氏名、電話番号を明記。
- 送付先
篠栗町議会まで郵送ください。（問い合わせ先は、役場3F 議会事務局まで）
- 応募上の注意
 - ① 作品は自作・未発表のものに限ります。
 - ② 作品は原則として返却しません。
 - ③ 人物の場合、必ず本人の同意を得てください。当発行者は肖像権等の責任は負いかねます。
 - ④ 採用された作品の著作権は、発行者に帰属し、出版物、ホームページなどで使用します。

9月議会は
9/8月 開会
9/10水 一般質問
の予定です

まちづくり講演会が開催されました。愛媛県双海町の講師・若松氏は「私のまちづくりの原点は悔しい思いをしてきた事が原動力になった。知名度がない『何も無い』と親が故郷の愚痴を言うから子どもが故郷を捨てて出ていく、子どもたちにどんな故郷を残してやるのか」と考え、「まず自分が燃え、人の心に火をつけ、まわりを発奮させていった」と。今では全国から観光に来られるそうです。

私たちにも何かできないか、篠栗町の未来を一緒に考えましょう。

後藤 百合子

旬花衆灯

発行責任者 議長 今泉 正敏 議会広報編集特別委員会 委員長 今長谷武和／副委員長 飯田浩二
委員 後藤百合子・松田國守・大楠英志・村瀬敬太郎

平成26年8月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷／株式会社三光